

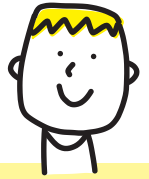
令和3年度 緩和ケアオンライン講演会

(第3回地域連携緩和ケア協議会)



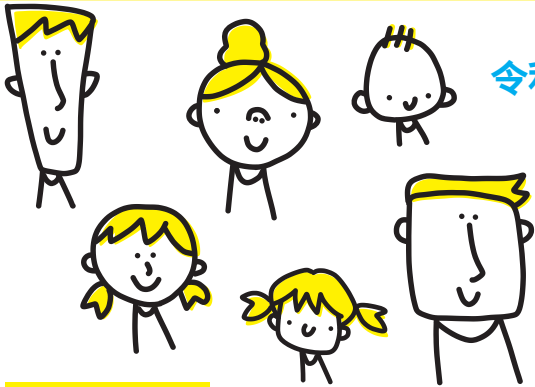
盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、下記のとおり「緩和ケア講演会」を開催いたします。御多忙とは存じますが、万障繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。



「ありがとう」と「さようなら」が 一つになるとき

～ 在宅ホスピス医からのメッセージ ～



令和3年9月3日(金)

18:30～(90分)

日本海総合病院

講堂, 第二講堂

申込〆切

8月23日(月)

17時



講師

ふじ内科クリニック 院長

内藤 いづみ先生



講師略歴

昭和31年生まれ 山梨県出身
甲府市在住
ふじ内科クリニック 院長

- ホスピス在宅ケア研究会やまなし代表
- 大正大学客員教授(人間学)
- 山梨県青少年協会理事長
- やまなし大使

【著書】

- ・あした野原に出てみよう(オフィスエム)
- ・最高に幸せな生き方と死の迎え方(オフィスエム)
- ・いのちの不思議な物語(校成出版)
- ・いい医者 いい患者 いい老後(永六輔氏と共著 / 校成出版)
- ・死ぬときに後悔しない生き方(総合法令出版)
- ・内藤いづみ講話集(ユーキャン) など多数

1981年福島県立医大卒業後、三井記念病院、東京女子医大内科等に勤務。イギリスでの生活とホスピス研修を経て1995年甲府市にふじ内科クリニックを開業。進行がん、末期がんの患者さんや地域の高齢の方の人生を支える在宅ホスピスケアを30年以上実践している。

幼い頃からのいのちの不思議について考えていた。だから、ホスピスケアに出会ったことは本人にとっては必然だった。

イギリスのホスピスケアを日本に紹介し、日本の文化に根付いた死生観を育てることを提唱し、がんになっても高齢になっても幸せに生き、最終章を幸せに過ごせる社会になれるように、山梨県での在宅ホスピスケア(家での看取りのための訪問診療や家族のサポートなどのチーム医療)を実践している。

日本ホスピス在宅ケア研究会の理事を20年近く務め、現在は、ホスピス在宅ケア研究会やまなしの代表として、様々な講師陣をお招きして地域で一般市民へ定期的にホスピス学校という学習会を開催。患者と家族のいのちの物語を伝える授業は人気。全国でもホスピスケア、地域での終末期のいのちの支え方についての講演は1000回以上。専門職だけでなく、一般の方々、また、小中高の生徒や大学生にもいのちの学びをともにし、いのちを生ききる力を発揮させ、人間力を鍛え、ホスピタリティある医療者やこども、大人を増やし豊かな社会をつくらせていきたいと力を注いでいる。

ホスピスケアの実践、語り、著書を通じて社会貢献をしているトータルケアの医師である。
永六輔氏とは長い親交があり、ふたりで全国各地へ赴いた。

主催 / 日本海総合病院 緩和ケアセンター
後援 / 地域連携緩和ケア協議会

参加申込・お問い合わせ先
日本海総合病院 医事課医事第1係 池田(内線3859)
0234-26-2001(代) ✉sikeda@nihonkai-hos.jp